



□なかよし縦割り活動『朝マラソン』がスタート！

4/28（月）から、なかよし縦割り活動の朝マラソンが始まりました。9つの縦割りグループごとに、3種類の曲に合わせて15分間（「ウォーキング」⇒「ジョギング」⇒「マラソン」）運動場を走ります。水曜日と雨の日以外は毎日走るので、少しずつ体が丈夫になり、健康維持と体力の向上につながっていきます。

□赤十字「一円玉募金」にご協力ください。

4/24（木）の参観日の日に、赤十字委員会が児童玄関に募金箱を設置しました。大新小学校では、青少年赤十字活動の日常活動で「赤十字募金」を実施しておりますが、今回、初めて保護者のみなさんや地域の方々向けに募金箱を設置させていただきました。

「一円玉」やご家庭で不要となった「古切手」、使用済みの「テレホンカード」や「図書カード」など裏が銀色のカードがありましたら、ご協力をお願いいたします。

※なお、募金箱は行事ごとに設置させていただきます。



□PTA活動に参加すると—

- （１）学校での子どもの様子がよく分かるようになります。
 - ・家庭とは違った学校生活の様子を知ることができます。
 - ・家庭での子どもとの会話が増えるきっかけになります。
- （２）自分の子どもだけでなく、他の子どもたちとも交流することができます。
 - ・他の子どもと顔なじみになり、他の子どもの良さが見えると共に、自分の子どもの良さも見えるようになります。
- （３）保護者同士のつながりができます。
 - ・子育てについて共に話し合い、理解を深めることができます。
 - ・同学年だけでなく、異学年や他校の保護者と交流し、情報交換をすることができます。
- （４）教職員との会話の機会が増えます。
 - ・学校や教職員を身近に感じることができます。
 - ・学校の様子や雰囲気について、話を聞く機会が増えます。
 - ・学校生活における心配事や悩み事等を相談しやすくなります。
- （５）地域とのつながりができます。
 - ・子育てについて、地域の方に相談しやすくなります。
- （６）学習会や研修会などをおして、新しい自分を発見できます。
 - ・新たな知識を身に付けることができます。
 - ・興味・関心が広がるだけでなく、充実感や達成感を味わうことができます。
 - ・生きがいを見つけるきっかけになります。

□PTAって何だろう？—

PTAとは、子どもの健やかな成長を図ることを目的とした社会教育関係団体です。保護者と教職員が対等の立場で協力し、学び合い、高め合っていく団体です。

PTAは、英語の Parent（親）—Teacher（教師）—Association（組織）の頭文字をとったもので、日本では「父母と先生の会」と訳しています。この名称から分かるように、PTAは保護者と教職員で自主的に構成され、両者が対応との立場で活動する団体といえます。また、PTAは青少年団体や女性団体などと共に社会教育関係団体の一つとして位置づけられ、その中でも最も多くの会員をもつ団体です。さらに、PTAには学校の教育活動を理解し、教育に関わる活動に取り組むことで、家庭・地域・学校を結ぶ役割も期待されています。

特集「PTA」について

□「PTA」について参考資料まとめてみました。今年度も、育誠会（PTA）活動に積極的にご参加いただければ幸いです。



— P T A の 歴 史 —

PTAの歴史は、19世紀末、児童愛護と教育環境の整備を目指したアメリカの運動から始まりました。

創始者であるアリス・バーニーさんの「尊い命を守り無力な幼児を健やかに育て、望ましい環境に迎え入れよう。」という訴えは、多くの母親たちの共感を呼び、運動の輪が広がっていきました。その後、この運動に父親と教師が参加し、「父母と教師が対等の立場で、子どもの教育について共に語り合う」活動として世界各地に広まりました。

日本のPTAは、昭和21年、戦後の日本の教育の民主的改革を推進するために来日した米国の教育使節団が、PTAの結成を奨励したことを受け、当時の文部省がPTAの普及を積極的に勧めたことから始まります。その後、全国的にPTAの結成が進み、昭和25年4月までに全国の約98%にあたる小・中・高等学校においてPTAが組織され、やがて、市町村や都道府県単位の連合組織や全国組織もつくられ、今日に至っています。